

## 専門職向け研修会の内容

### 在宅医療・介護連携推進研修会

---

- テーマ 「石岡版つながるシート研修会」  
講師：石岡薬剤師会 森田佳代氏  
茨城県介護支援専門員協会いしおか地区会 一柳浩司氏  
石岡市地域包括支援センター 清水明子
  
- 開催日程 令和4年7月29日（水）午後7時30分～9時  
※オンライン会議システムZoomにて開催
  
- ねらい 薬剤師と介護支援専門員との顔の見える関係づくりと相互理解、さらに多職種連携ツールの周知のため開催した。
  
- 参加者 44名  
（薬剤師20名、介護支援専門員19名、医薬品登録販売者2名、社会福祉協議会職員2名、行政職員1名）
  
- 研修内容 (1)石岡版つながるシートの開発経緯と活用例の説明  
(2)つながるシートの記載についての演習
  
- 結果 研修内容の満足度・内容の理解ともに概ね良好で、参加者の受講目的である「多職種連携」「他職種との顔合わせ」が達成できたものとする。  
また、通常業務で多職種連携を実践している介護支援専門員と比較し、薬剤師はその機会は少ないが連携に対して意欲があることが分かった。
  
- 今後の展開 アンケートから、参加者の本事業に関する研修会への参加意欲を確認できたため、今後も継続して専門職向けの研修会を開催していく。  
また、本研修後から運用開始した「石岡版つながるシート」の活用状況や、同時期に周知したお薬手帳への担当者シール貼付についても、年度末を目安にモニタリングを行い、地域の専門職へフィードバックしたい。  
加えて、本研修のアンケート結果を市ホームページに掲載し、参加者への報告とする。

■参考 石岡版つながるシート研修会 アンケート結果  
回答数：17（参加者44名に対し回答率38.6%）

1 参加者の職種（n=17）

|      |    |
|------|----|
| 薬剤師  | 10 |
| ケアマネ | 2  |
| 主任マネ | 4  |
| 行政   | 1  |

アンケートの回収率が他の研修や調査と比較して低下した。従来の紙媒体の配布から、電子申請システムでの回答としたことや、修了証等を発行しない研修会であったことも要因と考えられる。また、薬剤師の回答率50%に対し、介護支援専門員の回答率は31.6%と職種によりバラつきがあった。

アンケートは参加者からのフィードバックや事業評価のために必要であるため、参加者からの協力が得られるよう周知する必要がある。

2 受講目的（複数回答）

|               |    | 薬剤師       | 介護支援専門員  | 主任介護支援専門員 | その他     |
|---------------|----|-----------|----------|-----------|---------|
| 多職種連携について知りたい | 15 | 10 (100%) | 1 (50%)  | 3 (75%)   | 1(100%) |
| 介護支援専門員と顔合わせ  | 8  | 7 (70%)   | -        | -         | 1(100%) |
| 薬剤師と顔合わせ      | 7  | -         | 2 (100%) | 4 (100%)  | 1(100%) |
| 加算取得（薬剤師のみ）   | 7  | 7 (70%)   | -        | -         |         |

受講目的は「多職種連携について知りたい」をほぼ全ての受講者が回答した。職種別に見るとその割合は薬剤師の方が多く、通常業務で多職種との連携を実践している介護支援専門員と比較し、薬剤師はその機会は少ないが連携をに意欲があることが分かった。

3 研修の満足度（n=17）

|      |   |
|------|---|
| 10点  | 6 |
| 9点   | 1 |
| 8点   | 8 |
| 7点   | 2 |
| 6-0点 | 0 |

研修満足度は10段階の評価とし、8～10点（高評価）が全体の88%であり、参加者は概ね研修に満足していると評価できる。

研修の理解については良好で、全ての回答者が「良く」「まあまあ」理解できたと回答している。

今後の業務への活用についても全ての回答者が「充分」「まあまあ」活用できると回答している。

4 研修内容の理解（n=17）

|      |    |
|------|----|
| 良く理解 | 14 |
| まあまあ | 3  |
| あまり  | 0  |
| 全然   | 0  |

これらを総合すると、研修の趣旨や内容は良く伝わったと評価できるが、「石岡版つながるシート」を活用し連携に活かすことができる自信は、研修終了時点では得られなかった可能性がある。

## 5 今後の業務への活用 (n=17)

|      |   |
|------|---|
| 充分   | 9 |
| まあまあ | 8 |
| あまり  | 0 |
| 全然   | 0 |

## 6 今後の研修への参加意欲 (n=17)

|      |    |
|------|----|
| とても  | 16 |
| まあまあ | 1  |
| あまり  | 0  |
| 全然   | 0  |

## 7 今後、受講したい研修テーマ

|                       | キーワード        | 回答   |
|-----------------------|--------------|--|
| 今後、受講<br>したい研修<br>テーマ | 介護保険制度全般     | 介護度認定の見直しのタイミングや認定基準について解説していただきたいです。  |
|                       | 結果報告希望       | 特に今のところはないです。 今回の議事録を頂けると助かります   |
|                       | 看取り          | 在宅での看取り例など   |
|                       | 結果報告希望       | つながるシート使用した後の感想や成果など。  |
|                       | 居宅療養管理指導     | 居宅療養管理指導のサービス内容(様々な職種で具体的に)  |
|                       | 認知症初期集中支援チーム | 石岡市 認知症初期集中支援チームとの協働   |
|                       | 薬剤師に望むこと     | 薬局、薬剤師に望むことをお知らせいただきたい   |
|                       | 介護保険制度全般全般   | 介護保険でどんなことが出来るのか、介護度とはどのようなものか知りたい。新たに介護サービスを受けたい人に、どのように助言、お手伝いすれば良いのか知りたい。 |
|                       | 多職種連携        | 今回のような他職種連携  |

今後の研修参加については、全ての回答者が参加意欲を見せた。

今後の研修希望として、「石岡版つながるシート」の取り組み状況についてモニタリング・評価の報告を希望する声があった。シートの運用や、

また、薬剤師からは介護保険制度全般についての研修を希望する声がこれまでも複数聞かれている。職種間の相互理解を深めるためにも必要な知識であると考え、石岡薬剤師会と連携し、研修の機会について検討したい。(すでに、石岡薬剤師会会長から11月に多職種連携研修会の演者を依頼されており、今後内容について協議していく予定がある。)

## ○グループワークから得られた意見

### 【石岡版つながるシートについて】

(薬剤師)

- ・簡単な質問でもどんどん聞いてほしい、気軽に聞いてほしい
- ・患者様がどのような支援（介護保険サービス等）を受けているのか知りたい

(介護支援専門員)

- ・グループワークではシートの「相談内容」の部分に何を記載すればよいか分からず戸惑った。（ワーク内容の指示が分かりにくかった）
- ・今までは情報提供するときに、薬局に直接訪問していたが、シートがあると情報共有しやすくなる。
- ・このシートで、利用者の薬情をお願いしてもいいか？

→OK

(共通)

- ・送ったらすぐ返事があるのが良い
- ・薬剤師は、薬局で薬や健康のことは聞けるが、家族関係や生活の仕方までは聞くことができない。一方、ケアマネは、生活の様子や家族・支援者関係の把握が得意（ここを知らないと仕事にならない）ので、薬剤師への情報共有ができる。
- ・シートはFAXで送信することになっているが、紙媒体の管理や誤送信の懸念がある。メールでのやり取りについてはどうか？

→事業所として、メールでの個人情報のやり取りは不可と規定されている。

→MCS（メディカルケアステーション）アプリの利用をしている者もいるが、いずれにしても個人ではなく事業所・地域単位での検討が必要。

### 【理解が深まったこと】

- ・訪問薬剤管理指導（医療保険）では、必要があれば1か月に複数回の訪問が可能なことが分かった。
- ・薬剤師→Drに訪問のお伺いを立てるときに、生活環境や家族関係などの情報が分かる
- ・必要性をアピールしやすいので、ケアマネから薬剤師への情報提供は大切。
- ・ケアマネとの距離が縮まった（薬剤師）
- ・薬剤師が、薬だけでなく健康や運動について助言ができる職種であることを知った。
- ・利用者の支援をしていても、内服薬をどのように飲んでいるか気が付いておらず、薬剤師とつながって初めて分かったケースもある。

### 【多職種連携において行政や職能団体に期待する事】

- ・顔を合わせる機会を今後も作ってほしい。顔の見える関係づくりには複数回の開催が必要。気軽に相談できる関係づくりができれば、地域ケアシステムの底上げになると思う。
- ・顔を合わせる機会や連携ツールができた事で、相談しやすい環境ができた。
- ・お薬手帳に貼るシールについても、一定のルールや具体的な方法が確立でき、この地域で連携しやすくなった。
- ・ほかの職種との連携についても、ルールやツールづくりをお願いしたい。
- ・異職種と顔の見える関係ができると相談しやすいので、このような研修はありがたいが、できれば日中に開催してもらいたい。